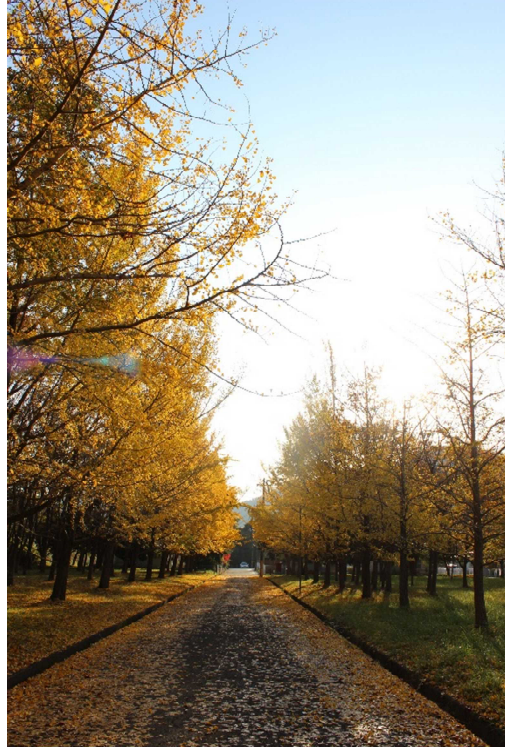
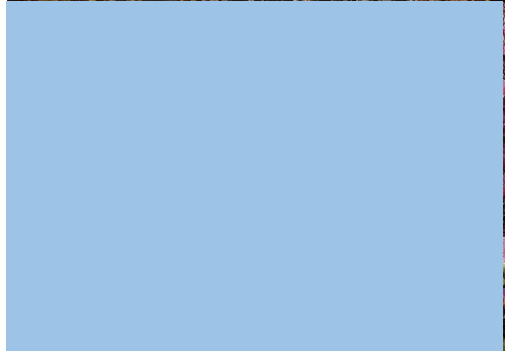
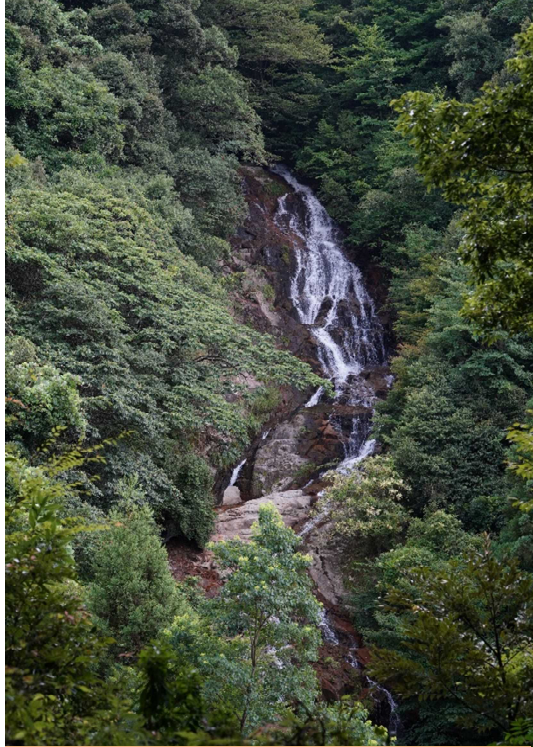


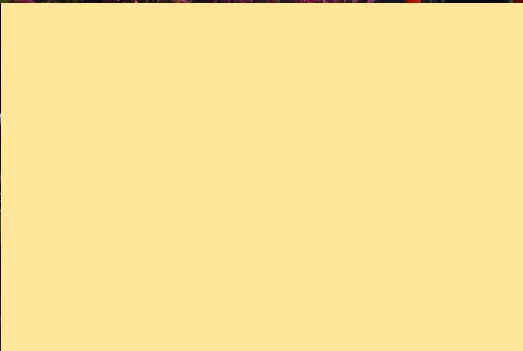
計画期間
令和3年度
～令和12年度



第7次
宮津市
総合計画



概要版



宮津市の 新しい総合計画が はじまります。



『共に創る みんなが活躍する 豊かなまち“みやづ”』へ

2030年に向けて、宮津市をどうしていくべきか。理想とする宮津市にするため、何を具体的にすべきか。市民一人ひとりが自分ごととして現実に向き合い意見交換を行ってきました。








これから10年のまちづくりの指針となる『第7次宮津市総合計画』では、行政と市民・事業者の皆さんが共に汗をかき、新しい価値を一緒に創り上げていく「共創（きょうそう）のまち」を将来像に掲げています。

この先の10年も、わがまちのシンボルである「天橋立」と共に豊かなまちに発展していく想いを込め、総合計画の全体像を、天に架ける橋のように、限りない未来に向けた「橋をつなごう」をキーワードにまとめました。

宮津市に住む人、関わる人、一人ひとりが、それぞれの希望に応じた役割や生きがいを持って活躍することができるまちづくりを進めていきましょう。



第7次宮津市総合計画 概要版 目次

 第7次宮津市総合計画の全体像 ～「橋をつなごう」をキーワードに～	・・・1～2
 第7次宮津市総合計画にこめた宮津市のまちづくりの形 ～目指す10年後の将来像～	・・・3
 2つの重点プロジェクト	・・・4～6
 5つのテーマ別戦略	・・・7～12
 将来像を実現するための5つの視点	・・・13～14
 エリア連携構想	・・・15
 おわりに -10年後に向けて始動-	・・・16

宮津市総合計画とは



宮津市の目指すべき将来像を描くとともに、その実現に向け、長期的な展望により総合的かつ計画的なまちづくりのあり方を示す最上位の指針です。

第7次宮津市総合計画は、「将来構想」と「基本計画」で構成しています。

◆将来構想(令和3年度～令和12年度)

「宮津市の目指す10年後の将来像」とまちづくりの基本的な方向性を示しています。

◆基本計画(前期 令和3年度～令和7年度)(後期 令和8年度～令和12年度)

将来像の実現に向けて、特に重点的に取り組む「2つの重点プロジェクト」、施策分野別に対応方向や具体的方策を示した「5つのテーマ別戦略」などを示しています。

第7次宮津市総合計画の全体像 ～「橋をつなごう」をキーワードに～

10年後を想像してみてください。

どんな生活をして、どんな仕事をして、どんな趣味を楽しんでいますか？
変わらない家族の顔が浮かびますか？それとも、新しい家族が増えていますか？

それぞれ答えは違っても、きっと皆さん、未来は言葉ではなく、絵で描くはず。
だから、宮津が今後10年で目指すまちづくりをまとめた「第7次総合計画」を、
1つの具体的なイメージで市民のみなさんに伝えたいと思います。

それは、「橋」のようなまちです。

共に創り、みんなが活躍する豊かなまち みやづ。
宮津から外へ、まちの魅力が広がり、外から宮津へと、新しい人が渡ってくる。
お金だけでなく、文化も、知識も、経験も行き交うことで、豊かになっていく。

そして、その橋は、いつまでも強固で、子供から高齢者まで安心できる。

そんな日本に誇れる、橋のようなまちづくりを目指します。

もちろん、自治体だけでは、成し遂げることはできません。

きっと、宮津に関わるみんなが主人公になって、はじめて架かる橋。

さあ、天橋立があるまち 宮津、の先へ。共に一歩踏み出しませんか？

橋をつなごう



第7次宮津市総合計画の全体像

目指す10年後の将来像



共に創る みんなが活躍する 豊かなまち “みやづ”

これから10年、みんなが主人公となり、まるで橋のようなまちをつくっていく

2つの重点プロジェクト



若者が住みたい
まちづくりプロジェクト

若者の住みたい気持ちをつくり、
人を宮津に渡らせる



宮津の宝を育む
チャレンジプロジェクト

人と物を育て、魅力を全国へと発信し、
お金を渡らせる

5つのテーマ別戦略

経済をつなぐ



地域経済力が
高まる
まちづくり

人をつなぐ



住みたい、
住み続けたい
まちづくり

安心をつなぐ



安全・安心に
生活でき、
環境にやさしい
まちづくり

未来をつなぐ



健康でいきいきと
幸せに暮らせる
まちづくり

文化をつなぐ



ふるさとを大切に
学びを深める
まちづくり

将来像実現にむけた5つの視点

市民協働



Society 5.0



SDGs



ウィズ/
ポストコロナ



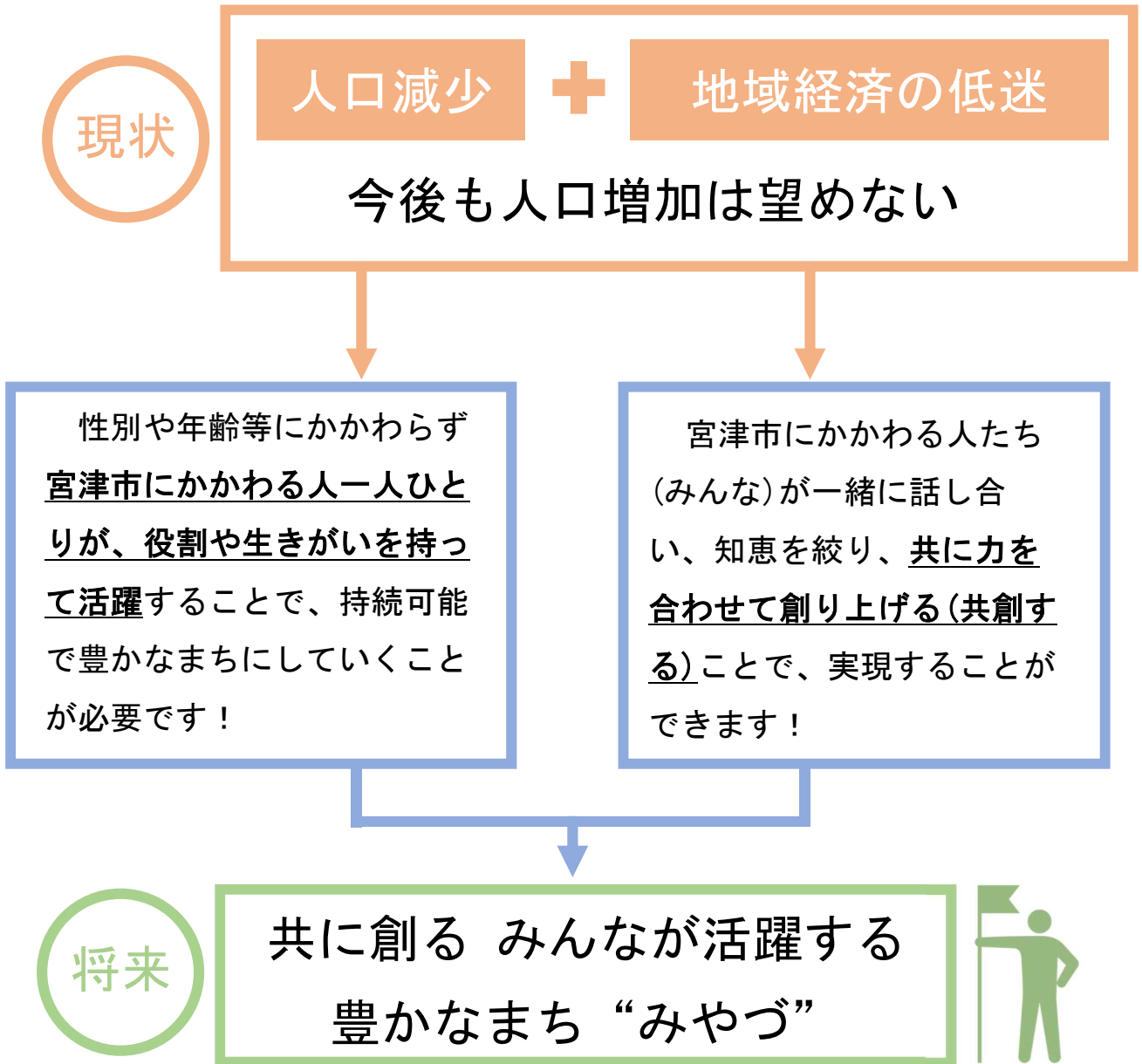
健全な
行政運営



第7次宮津市 総合計画

にこめた宮津市のまちづくりの形

～目指す10年後の将来像～



「豊かなまち」とは…

- 受け継がれた産業を守り、新たな価値を創造するまち
- 子育てしやすく、子どもたちの声が響く明るいまち
- 人と人とがつながり、住む人も関わる人も安心して心地よく暮らせるまち
- 自然や歴史・文化を守り「ふるさと宮津」に誇りや愛着を持つまち



2つの 「重点」 プロジェクト

将来像の実現に向けて、人口減少のスピードを緩やかにし、地域経済の活性化を図り、1人当たりの市民所得を増やしていくために、各種行政施策などを横断・連携して重点的に実施していきます。



1. 若者が住みたいまちづくりプロジェクト

つなごう。

未来のみやづをつくる次の世代を

若者が宮津に住みたい、住み続けたいと思えるまち、子育てしやすいまちづくりを地域一体で進めます。



若者の住みたい気持ちをつくり、人を宮津に渡らせる

宮津 に関心がある人
住みたい人を増やします。

◆関係人口創出・拡大 ◆移住・定住促進



宮津 に住みたい、住み続けたい
と思える環境を整えます。

◆子育て支援 ◆男女共同参画・女性活躍
◆学校教育 ◆地域コミュニティ
◆市民協働



重点 2. 宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト

つなごう。

宮津の魅力とまだ見ぬ誰かを

地域で活躍する「人」の育成や地域の宝(ヒト・モノ・コト)を使ったビジネスへのチャレンジを応援します。



人と物を育て、魅力を全国へと発信し、お金を渡らせる

地域で活躍する「人」を育成します。

- ◆人財づくり
- ◆市民協働



「物」を使ったビジネスへの環境を整えます。

- ◆文化財保存・活用
- ◆観光振興
- ◆商工業振興
- ◆農林水産業振興
- ◆海の活用



地域の宝(ヒト・モノ・コト)を使ったビジネスへのチャレンジを応援し、お金を渡らせる



5 つの

「テーマ別」

戦略

将来像の実現に向けて、施策分野別に対応方向や具体の方策を示して、まちづくりを進めていきます。

1. 地域経済力が高まるまちづくり

つなごう。

このまちの産業と日本の経済を

1次・2次・3次のあらゆる産業が連携し、新産業の創出や新たな雇用の創出、生産性の向上など、地域経済力が高まるまちづくりを進めます。



あらゆる産業の連携



地域経済力の向上



施策分野

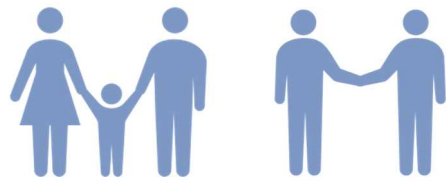
- ◆観光振興
- ◆商工業振興
- ◆農林水産業振興
- ◆海の活用
- ◆都市景観、景観まちづくり
- ◆社会基盤施設活用

2. 住みたい、住み続けたいまちづくり

つなごう。

このまちに携わるすべての人を

これからの時代に合った住みやすく多様なライフスタイルに適合した地域コミュニティづくりや子育て支援、定住促進策等により、市内外の人々が「住みたい」「住み続けたい」と思えるまちづくりを進めます。



地域コミュニティづくり、
子育て支援など、定住促進策の推進



市内外の人々が住みたい
住み続けたいと思えるまちへ



施策分野

- ◆子育て支援
- ◆関係人口創出・拡大
- ◆移住・定住促進
- ◆空き家対策
- ◆男女共同参画・女性活躍
- ◆シティプロモーション
- ◆地域コミュニティ
- ◆市民協働

3. 安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり

つなごう。

どんな時も揺るがない安全・安心を

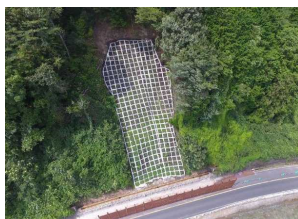


地域住民との協働による SDGs の推進

SDGs を推進し、持続可能な地域を目指して、自助・共助と公助の連携・協働等により、安心が実感でき、安全で快適に暮らせるまちづくりを進めます。



安全で快適に暮らせるまちへ



施策分野

- ◆社会基盤・防災減災
- ◆防犯・交通安全
- ◆環境
- ◆公共交通

4. 健康でいきいきと 幸せに暮らせるまちづくり

つなごう。

10年後、20年後の健やかな暮らしを

市民一人ひとりが住み慣れた地域で健康に安心して生活することができるよう、自助・共助・公助により行政と地域住民が支え合い健康で安心していきいきと幸せに暮らせるまちづくりを進めます。



行政と地域住民の支えあい



健康でいきいきと幸せに暮らせるまちへ



施策分野

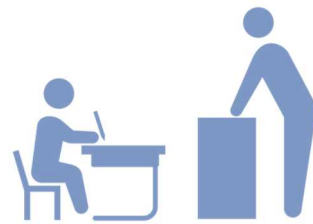
- ◆ 地域福祉
- ◆ 障害福祉
- ◆ 高齢者福祉
- ◆ 健康・医療
- ◆ 福祉医療人材育成

5. ふるさとを大切に 学びを深めるまちづくり

つながろう。

みんなの知識、経験、文化を

明日の宮津を担い、創る人づくりに向けて、就学前から10年間を見据えた、宮津ならではの小中一貫教育をはじめとした、「ふるさと宮津」に誇りと愛着を持って活躍するまちづくりを進めます。



子供から大人まで学びを深める



「ふるさと宮津」に誇りと愛着を



施策分野

- ◆社会教育 ◆学校教育 ◆文化・スポーツ振興
- ◆文化財保存・活用 ◆人権教育・啓発 ◆人財づくり

将来像実現に向けた 5 つの「視点」

次の5つの視点を重視した上で、将来像の実現に向けた具体的な方策を検討・実施していきます。

1. 市民協働

様々な分野で市民、各種団体、企業等と行政が協働のプラットフォームを設置し、それぞれが力を合わせ主体的に課題の解決やまちづくりに取り組んでいきます。

2. Society5.0

地域課題・社会課題の解決に向けて ICT 等の新たな技術の活用に積極的に取り組んでいきます。

3. SDGs (持続可能な開発目標)

国の示す SDGs の方向性に沿って、各種施策を総合的に講じていくとともに、官民連携した啓発活動の推進等により市民や事業者への SDGs の浸透を図ります。

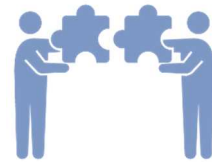
4. ウィズ/ポストコロナ

新型コロナウイルス感染症拡大後(ポストコロナ)の社会の変化を危機(ピンチ)ではなくチャンスと捉え、経済や関係人口、移住・定住の促進等様々な分野において積極的に対応していきます。

5. 健全な行政運営

中長期的に安定した行財政運営に向け、行財政運営指針や公共施設再編方針等に基づき、経営視点に立った効率的・有効的な行政運営を進めます。

エリア「連携」構想



地域を維持・発展させていくためには、地域コミュニティや交通の維持等の様々な課題や地域振興策等について地域を越えた連携を図ることが必要となるため、令和3年度以降、地域の皆さんと一緒に話し合い、様々な課題の把握とその解決に向けた連携のあり方・方法等を構築、実施します！



－ 10 年後に向けて始動 －

まちから外へ、外からまちへ。

すべてが活発に行き交い、そして暮らしを豊かに高め合う。

そんな橋のようなまちを、宮津はこれから 10 年で目指していきます。

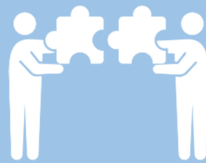
天橋立に負けない（はじない）くらい、魅力的でワクワクできるまちへ。

さあ、10 年後の未来に向けて、



共につなごう。

宮津という橋を。



第7次宮津市総合計画についての
お問い合わせ先

宮津市企画財政部企画課
企画政策係

TEL 0772-45-1664

FAX 0772-25-1691

宮津市総合計画のWeb サイト

[https://www.city.miyazu.kyoto.jp
/life/8/45/191/](https://www.city.miyazu.kyoto.jp/life/8/45/191/)

